

●平成15年度（2003年度）

フォレストコミュニティ総合整備事業



中野市、飯山市、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、豊田村、栄村の2市、1町、4村と森林組合から選出された「ワーキンググループ」

平成11年度から平成14年度まで居住地森林環境整備事業が導入され、北信地域の市町村・森林組合が連携し、加速度的に森林整備を実施してきました。

さらに継続的な森林整備を行うため「フォレストコミュニティ総合整備事業ワーキンググループ」が各市町村・森林組合の担当者約20名を構成員として設立され、地域の森林を健全にするため、森林整備と整備エリアの拡充を図る計画が作成されました。

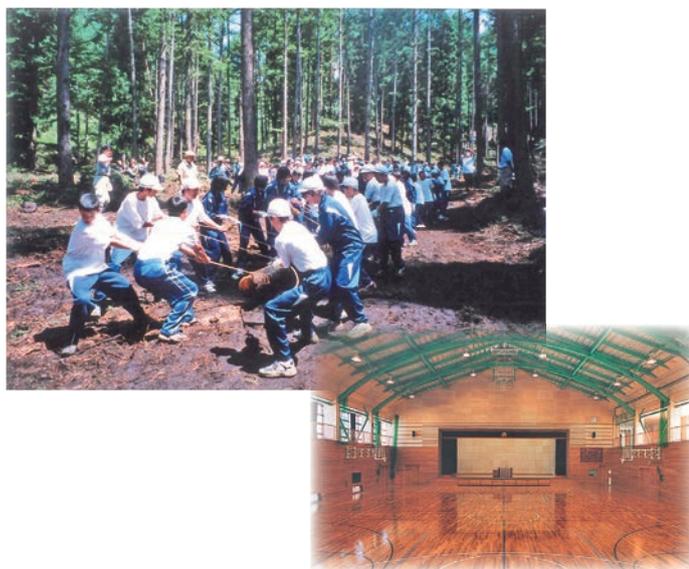
この事業は平成15年度より平成19年度まで5年に亘り実施されました。

高社中学校体育館建設用の
間伐材を搬出

中野市高社山四区共有林の間伐現場から、高社中学校の生徒がカラマツ材を搬出しました。

これは建設中であった高社中学校の体育館の壁板に使用するもので、体育館に愛着を持ち、大切に使用してもらうための教育の一環として行われたものです。

当組合の協力の下、1年生3クラス、2年生3クラス、3年生4クラスの全校生徒で合計10本のカラマツを引き出しました。



完成した体育館

主な出来事

長野県林業関係コンクール受賞

▲ 間伐の部
豊田村南永江自治会 県知事賞
中野市高社山四区共有林 県森連会長賞



5月 4月
北信州植樹祭（木島平村）
総代会

■北信州森林組合

12月 レット）製造施設が完成
10月 上伊那森林組合で木質燃料（ペ
8月 緑の研修生に93人が参加
県公共施設への木材利用が本格化
（白馬村）

■森林・林業関係

5月 ふるさとの森づくり県民の集い
（第54回長野県植樹祭）

地域材を使った木造建設

平成14年度から引き続き、地域の木を使うことで森林を守り、健康な家を広め、家づくりが森林を救うという思想のもと、飯山市・豊田村で北信州材を使った地域交流センターが建設されました。

《飯山市神明町地域交流センター》

地元のお寺から切り出されたイチイが床柱として使われています。その他の木材は組合が搬出した中野市高社山四区共有林や山ノ内町横倉地区のスギの間伐材が使われました。

木口には産地を証明する刻印が打ち込まれました。



《豊田村南永江地域交流センター》



地元の山林から切り出されたスギの巨木は、庇ゲタとして使われています。

その他の木材は組合が搬出した中野市間山地区・高社山四区共有林や山ノ内町横倉地区の間伐材が使われました。

子どもたちも、総合学習との連携で伐採現場の見学や製材所を見学し、直接木材と触れ合うことで、木材に対し深い係わりを持つことが出来ました。



主な出来事

■地域

- 4月 県議会議員 小林実氏（5選）、小林宗生氏、宮本衡司氏、初当選
- 4月 湯田中駅前「楓の湯」オープン
- 4月 豊田村斑尾大池近くに「まだらおの湯」オープン
- 5月 小林実県議議長就任
- 10月 合併の是非、住民投票で山ノ内町は「自立」
- 2月 青木一中野市長、初当選

■国内

- 5月 小惑星探査機「はやぶさ」打上げ
- 5月 受動喫煙防止を義務付けた「健康増進法」施行
- 9月 阪神、18年ぶりのリーグ優勝
- 9月 柔道女子、田村亮子、世界選手権6連覇
- 12月 自衛隊、イラク派遣を決定
- 1月 山口県で鳥インフルエンザ発生

